

審査申出書の書き方

受付印

年 月 日 (申出先) 伊豆の国市固定資産評価審査委員会 年度 固定資産税に係る固定資産評価審査申出書 地方税法第432条第1項の規定に基づき審査の申出をします。										
審査申出者	住所 (居所)	〒								
	氏名 (名称)		連絡先 電話番号	()						
	代表者 又は 管理人	住所	〒							
		氏名		連絡先 電話番号	()					
総代又は代理人	区分	総代・代理人 (該当するものを○で囲みます。)								
	住所	〒								
	氏名		連絡先 電話番号	()						
審査の申出に係る処分の内容		別添申出明細書 { <table border="0"> <tr> <td>土地</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>家屋</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>償却資産</td> <td>枚</td> </tr> </table> のとおり			土地	枚	家屋	枚	償却資産	枚
土地	枚									
家屋	枚									
償却資産	枚									
納税通知書又は価格等の決定・修正通知書の交付を受けた日		年 月 日								
口頭審理		希望する・希望しない (委員に対して口頭で意見を述べることを求める場合は「希望する」を囲んでください。)								
その他、添付書類										

審査申出書の提出年月日を書きます。

納税通知書の登録を受けた年度又は価格決定(価格修正を含む。)の通知のあった年度を書きます。

審査申出者欄

- 個人の場合・・・住所、氏名、電話番号を書きます。
- 法人の場合・・・所在、名称、電話番号を書きます。
- 共有者が共同で審査を申し出る場合・・・申出者欄に共有者を並べて書きます。書ききれない場合は、欄に1名の氏名と「他別紙」と表示し、別紙に他の申し出る共有者の住所、氏名を書いて添付してください。

代表者又は管理人欄

- 法人の場合・・・代表者の住所、氏名、電話番号を書きます。又、その資格を証明する書面を添付してください。(法務局が発行した代表者の資格証明書、登記事項証明書などいずれか)
- 法人格のない社団又は財団・・・代表者又は管理人を定款、規約等で定めているものは、その名で申し出ることができます。代表者又は管理人の資格を証明する書面を添付してください。(定款、規約、代表者又は管理人を定める議事録の抄本など)

総代又は代理人欄

- 総代又は代理人を定めた場合にかきます。申出以後、決定までの委員会からの連絡は、総代又は代理人あてに行うことになります。
- 代理人の場合は、委任状、総代の場合は総代選任書を必ず添付してください。
- 法定代理人の場合は、戸籍謄本又は抄本を添付してください。

交付を受けた日欄

- 通知書の届いた日を書きます。この日の翌日から数えて3か月まで申出ができます。(納税通知書が届く前に申し出る場合は、記入不要です。)

口頭審理欄

- 委員に対して口頭で意見を述べることを求める場合は、「希望する」を囲んで下さい。

その他、添付書類

- 証拠書類等を添付する場合は、その書類名を書いてください。
- その他審査に必要と思われる事項について委員会へ伝える内容がありましたら書いてください。

(注意)

1. 代表者若しくは管理人、総代又は代理人は、その住所、氏名等を記入し、その資格を証明する書面を添付してください。
2. 「その他、添付書類」欄は、証拠書類等を添付する場合にはその書類名を記載してください。
3. この審査申出書は、正副2通作成し、提出してください。
4. 審査申出書の提出後、審査の決定までの間にその記載事項に異動を生じた場合は、遅滞なくその異動事項を文書で届け出てください。
5. 記載事項に不備がある場合は、受理されないことがありますので注意してください。

申 出 明 細 書 (土 地)				※番号	
申出者氏名・名称					
申 出 資 産					
土地の所在及び地番	地 目		地 積	台 帳 登 録 価 格	申 出 価 格
	台 帳	現 況			
			m ²		
申 出 の 趣 旨					
申 出 理 由					

申出明細書の記載要領

- ※ 副本は、正本をコピーして作成しても結構です。
- ※ 申出書の控えが必要な場合は、御自身で作成、保管してください。

申出者氏名・名称欄

- 申出者の氏名（法人の場合は名称）を書きます。

申出資産欄

- 課税台帳上の内容を書きます。
課税台帳又は納税通知書の「課税明細書」を参照して書いてください。
注1・・・土地の申出明細書の「台帳地積」、「台帳地目」、は、課税台帳を参照して転記してください。
注2・・・申出明細書の「台帳価格」は、課税台帳の「評価額」欄の内容を転記します。

申出の趣旨欄

- 申出資産の価格をどうして欲しいかを書きます。
(例:「・・・価格を下げることを求める」「価格を- - -円にすることを求める」など) いくらにして欲しいか金額を書いた場合には、申出理由欄になぜ、その金額になるのか、金額の算出根拠を書いてください。
- 固定資産評価審査委員会に対して申し出できるのは、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）について不服がある場合です。
- 価格（評価額）に関すること以外の不服については、審査申出できる事項ではないとして却下される場合があります。(価格以外の不服がある場合は、この委員会に対する審査申出とは別に、伊豆の国市長に対して審査請求をすることができる制度があります。)

申出理由欄

- 申出の理由をなるべく具体的に詳しく書いてください。
単に価格が高いというだけでなく、できるだけ具体的に書いてください。
書ききれない場合は、別紙に書いて添付してください。
- 主張する内容が不明確な場合は、適正な審査を行うために、明確な趣旨・理由となるように補正（内容の補充・修正）が必要となる場合があります。

- (注意)
- ※印欄には記入しないでください。
 - 申出資産欄が足りない場合には、別紙に記載ください。

申 出 明 細 書 (家 屋)					※番号	
申出者氏名・名称						
申 出 資 産						
家屋の所在及び地番	家屋番号	構 造	床面積		台帳登録 価 格	申 出 価 格
	種 類			m ²		
			1階			
			1階以外			
			合計			
			1階			
			1階以外			
			合計			
			1階			
			1階以外			
			合計			
申 出 の 趣 旨						
申 出 理 由						

申出明細書の記載要領
 ※ 副本は、正本をコピーして作成しても結構です。
 ※ 申出書の控えが必要な場合は、御自身で作成、保管してください。

申出者氏名・名称欄
 ○ 申出者の氏名（法人の場合は名称）を書きます。

申出資産欄
 ○ 課税台帳上の内容を書きます。
 課税台帳又は納税通知書の「課税明細書」を参照して書いてください。
 注1・・・家屋の申出明細書の「床面積」、は、課税台帳を参照して転記するか、登記簿謄本を参照し、記入してください。
 注2・・・申出明細書の「台帳価格」は、課税台帳の「評価額」欄の内容を転記します。
 注3・・・種類は、居宅、共同住宅、店舗、工場、倉庫、付属家などです。
 注4・・・構造の欄は木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造などの主体構造を記入し、階層を記入してください。
 例えば、木造、2階建てなど。

申出の趣旨欄
 ○ 申出資産の価格をどうして欲しいかを書きます。
 （例：「・・・価格を下げることを求める」「価格を - - - 円にすることを求める」など）
 いくらにして欲しいか金額を書いた場合には、申出理由欄になぜ、その金額になるのか、金額の算出根拠を書いてください。
 ○ 固定資産評価審査委員会に対して申出できるのは、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）について不服がある場合です。
 ○ 価格（評価額）に関すること以外の不服については、審査申出できる事項ではないとして却下される場合があります。（価格以外の不服がある場合は、この委員会に対する審査申出とは別に、伊豆の国市長に対して審査請求をすることができる制度があります。）

申出理由欄
 ○ 申出の理由をなるべく具体的に詳しく書いてください。
 単に価格が高いというだけではなく、できるだけ具体的に書いてください。
 書ききれない場合は、別紙に書いて添付してください。
 ○ 主張する内容が不明確な場合は、適正な審査を行うために、明確な趣旨・理由となるように補正（内容の補充・修正）が必要となる場合があります。

(注意) 1. ※印欄には記入しないでください。
 2. 申出資産欄が足りない場合には、別紙に記載ください。

申 出 明 細 書 (償却資産)					※番号
申出者氏名・名称					
申 出 資 産					
償却資産の所在地					
種 類	名 称	数 量	取 得 年 月		申出価格
			年	月	
申出の趣旨					
申出理由					

申出明細書の記載要領
 ※ 副本は、正本をコピーして作成しても結構です。
 ※ 申出書の控えが必要な場合は、御自身で作成、保管してください。

申出者氏名・名称欄
 ○ 申出者の氏名（法人の場合は名称）を書きます。

申出資産欄
 ○ 課税台帳上の内容を書きます。
 課税台帳又は納税通知書の「課税明細書」を参照して書いてください。
 注1・・・償却資産の申出明細書の「種類」は、課税台帳の「種類」欄の内容を転記します。
 注2・・・申出明細書の「取得価格」は、課税台帳の「評価額」欄の内容を転記します。

申出の趣旨欄
 ○ 申出資産の価格をどうして欲しいかを書きます。
 （例：「・・・価格を下げることを求める」「価格を- - -円にすることを求める」など）
 いくらにして欲しいか金額を書いた場合には、申出理由欄になぜ、その金額になるのか、金額の算出根拠を書いてください。
 ○ 固定資産評価審査委員会に対して申し出できるのは、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）について不服がある場合です。
 ○ 価格（評価額）に関すること以外の不服については、審査申出できる事項ではないとして却下される場合があります。（価格以外の不服がある場合は、この委員会に対する審査申出とは別に、伊豆の国市長に対して審査請求をすることができる制度があります。）

申出理由欄
 ○ 申出の理由をなるべく具体的に詳しく書いてください。
 単に価格が高いというだけではなく、できるだけ具体的に書いてください。
 書ききれない場合は、別紙に書いて添付してください。
 ○ 主張する内容が不明確な場合は、適正な審査を行うために、明確な趣旨・理由となるように補正（内容の補充・修正）が必要となる場合があります。

(注意) 1. ※印欄には記入しないでください。
 2. 申出資産欄が足りない場合には、別紙に記載ください。